

## 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

# 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（イノベーションの視点）

## 地方創生に向けた戦略

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「長岡版イノベーションの推進」を、戦略推進の共通の視点とし、この視点に基づく6つの「戦略」（若者定着、子育て、教育、働く、交流・連携、安全安心）から様々な施策を実施し、人口減少の歯止めを着実に進めていきます。

## 長岡版イノベーションの基本的な考え方

変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現します。大きな変化をチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に新たな発想や先端技術を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組みます。

## 長岡版イノベーションの目的・方針

### 産業の振興・起業の促進

- ・新たな産業クラスタを形成し、学生や地場産業との連携を促進
- ・学生や若者が起業しやすい環境の創出
- ・長岡で最先端技術に触れる機会の創出
- ・長岡における新しい産業の動きの可視化

### 人材の育成

- ・「楽しむ」から「学ぶ」、そして「仕事」につながるコンテンツの提供
- ・長岡の未来を支える産業人材の育成

### 市民生活の向上

- ・デジタル化による市民生活の利便性向上
- ・新しいツールを活用し個々の市民に最適な情報・サービスの提供
- ・新しい技術や考え方を取り入れた行政課題の解決

### 行政事務の効率化

- ・市民目線に立ち様々なノウハウを活用した、行政事務の徹底的な見直し
- ・市が持つデータを活用した市民サービスの構築
- ・事務の自動化による人的資源・財源の有効活用

# 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略）

## 戦略1 若者定着

若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進めます。

## 戦略2 子育て

子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添った切れ目のない支援をすることで、長岡で子どもを産み育てたいと思うまちづくりを進めます。

## 戦略3 教育

米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来の長岡を背負って立つ人を育てます。

## 戦略4 働く

若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。

## 戦略5 交流・連携

豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、広域連携や、国際交流により、交流人口・関係人口を増やします。

## 戦略6 安全安心

将来にわたって住み続けたいと思えるような、誰もが充実し、安全で安心して暮らすことのできる、快適なまちづくりを進めます。

## 第2期総合戦略 数値目標の評価（令和2年度）

戦略1の数値目標「市内4大学・1高専・15専門学校の市内就職率」及び戦略4の数値目標「担い手農家の農地利用割合」について、算出方法に誤りがあったため、令和2年度の実績値を修正しました。

戦略	数値目標	当初値	R2実績値	目標値
戦略1	転出者超過率	114.5%	114.6%	105%
戦略1	市内4大学・1高専・15専門学校の市内就職率	20.7%	<b>20.0%</b>	25%
戦略2	子育ての環境や支援への満足度※1	78.5%	—	85%
戦略3	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合※2	小学校 62.1% 中学校 47.9%	—	小学校 70% 中学校 55%
戦略4	起業支援センターながおかでの支援により起業した件数	30件／年	40件／年	41件／年
戦略4	地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数	17件	25件	40件
戦略4	担い手農家の農地利用割合	64.5%	<b>66%</b>	70%
戦略5	主要集客地点入込数	7,360,000人	4,060,000人	8,360,000人
戦略5	JR長岡駅乗車数	2,120,000人	840,000人	2,200,000人
戦略5	市内5インターチェンジ利用台数※2	12,400,000人	—	13,120,000人
戦略6	フェニックスネットの参加機関数及び登録者数	181機関 4,705人	183機関 6,387人	230機関 10,000人

※1 令和5年度の「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」策定時に調査し、評価する。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、調査未実施のため実績値なし。

## 第2期総合戦略 数値目標の評価（令和3年度）

新型コロナウイルス感染症の影響により、本来想定していた事業を実施できず、目標値を大きく下回った指標もありましたが、目標達成に向けて順調に推移している指標もあり、継続した取り組みが必要と考えます。

戦略	数値目標	当初値	R3実績値	目標値
戦略1	転出者超過率	114.5%	<b>115.3%</b>	105%
戦略1	市内4大学・1高専・15専門学校の市内就職率	20.7%	<b>19.2%</b>	25%
戦略2	子育ての環境や支援への満足度※	78.5%	—	85%
戦略3	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小学校 62.1% 中学校 47.9%	<b>小学校 55.9%</b> <b>中学校 51.8%</b>	小学校 70% 中学校 55%
戦略4	起業支援センターながおかでの支援により起業した件数	30件/年	<b>27件/年</b>	41件/年
戦略4	地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数	17件	<b>29件</b>	40件
戦略4	担い手農家の農地利用割合	64.5%	<b>66.9%</b>	70%
戦略5	主要集客地点入込数	7,360,000人	<b>4,910,000人</b>	8,360,000人
戦略5	JR長岡駅乗車数	2,120,000人	<b>980,000人</b>	2,200,000人
戦略5	市内5インターチェンジ利用台数	12,400,000人	<b>10,470,000人</b>	13,120,000人
戦略6	フェニックスネットの参加機関数及び登録者数	181機関 4,705人	<b>246機関</b> <b>8,004人</b>	230機関 10,000人

※令和5年度の「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」策定時に調査し、評価する。

## 第2期総合戦略 数値目標の検証

戦略	数値目標	当初値	R3実績値	目標値	課題と原因分析	今後の対応
戦略1	転出者超過率	114.5%	115.3%	105%	人口減少対策は効果が現れるまで時間を要することから、継続した取り組みが必要と考えます。また、新型コロナウイルス拡大の影響による地方分散の動きがあり、今後効果が現れてくるものと推測します。	引き続き4大学1高専15専門学校との連携事業や学び・仕事・生活等の長岡の魅力発信・UIターン促進等により市内外の若者定着に向けた取り組みを進めていきます。
戦略1	市内4大学・1高専・15専門学校の市内就職率	20.7%	19.2%	25%	実績値低下の要因として、長岡崇徳大学開学に伴い、市内就職率の高かった長岡看護福祉専門学校（現：長岡崇徳福祉専門学校）の看護学科が2020年度末で廃止された影響があり、この要因を除くと市内就職率は横ばい傾向となっています。コロナ禍により県外就職を控える傾向が学生アンケートで出ていますが、市内・県内就職率に大きな変動は見られていません。	コロナ禍の影響で、企業の地方分散と学生の地元就職志向の高まり、リモートワークの進展など、地方で働きやすい環境が整いつつあります。引き続き教育機関や産業界と連携し、市内企業を知ってもらう取り組みや長岡で暮らす魅力の発信など若者の地元定着に向けた取り組みを進めていきます。

# 第2期総合戦略 数値目標の検証

戦略	数値目標	当初値	R3実績値	目標値	課題と原因分析	今後の対応
戦略2	子育ての環境や支援への満足度	78.5%	—	85%	実績値については、令和5年度の「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」策定時に調査し評価を行います。	引き続き、長岡版ネウボラの推進や子育ての駅・児童クラブ等で保護者を支援し、子育て環境や支援への満足度を高める取り組みを進めていきます。
戦略3	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる児童生徒の割合	小学校 62.1%  中学校 47.9%	小学校 55.9%  中学校 51.8%	小学校 70%  中学校 55%	コロナ禍にあり、地域と連携した教育活動が制限されているという現状があります。学校教育だけでなく、地域と一体となった「オール長岡」で子供たちの教育活動を進めていく必要があります。	全市立学校に導入された「コミュニティ・スクール」制度を活用するとともに、職場体験学習や地域学習など、これまで学校内だけで進めてきた教育活動を、地域と連携した「オール長岡」での教育活動に変換し、ふるさとを愛し、地域や社会のために何をすべきか考えることができる児童を育成していきます。

## 第2期総合戦略 数値目標の検証

戦略	数値目標	当初値	R3実績値	目標値	課題と原因分析	今後の対応
戦略4	起業支援センターなおかでの支援により起業した件数	30件/年	27件/年	41件/年	起業件数は目標値を下回り、起業を先延ばしにするなど、新型コロナウイルス感染症の影響も出ていますが、相談件数は前年度を上回るなど、若者等の起業機運の醸成はできています。	引き続きCLIP長岡と連携しながら、起業に関するワンストップ相談、セミナーや講演会の開催等を通じて起業支援の取り組みを進めていきます。
戦略4	地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数	17件	29件	40件	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業活動の鈍化が見受けられるものの、承認件数は概ね順調に推移しており、特筆すべき課題は見当たりません。	引き続きウイルスの感染状況及び市場の動向等に注視しつつ、目標達成に向けた企業支援の取り組みを進めていきます。
戦略4	担い手農家の農地利用割合	64.5%	66.9%	70%	担い手農家の高齢化による担い手不足により、今後担い手農家への農地の集積・集約化が、思うように進まなくなる可能性があります。	法改正により策定が義務付けられる「地域計画」の策定に向け、普及センターやJAと連携し、地域内の農地の担い手農家への集積・集約化を具体的に進めていきます。

# 第2期総合戦略 数値目標の検証

戦略	数値目標	当初値	R3実績値	目標値	課題と原因分析	今後の対応
戦略5	主要集客地点入込数	736万人	491万人	836万人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント等の中止が相次いだことや、移動制限や旅行控えの動きが生じたことなどにより、目標を大きく下回ったものと考えます。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、引き続き長岡の豊かな地域資源の磨き上げや国内外への情報発信、近隣・関係市町村等との広域連携の積極的な推進、国際的な交流の充実など、交流人口・関係人口の増加に向けた取り組みを進めていきます。
	JR長岡駅乗車数	212万人	98万人	220万人		
	市内5インターチェンジ利用台数	1,240万人	1,047万人	1,312万人		
戦略6	フェニックスネットの参加機関数	181機関	246機関	230機関	目標値は達成しましたが、参加機関の増加が登録者数の増加にもつながることから、引き続き、参加していない医療機関や介護施設等に対する働きかけに力を入れる必要があります。	引き続き、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、各団体の会員の参加を促すとともに、多職種勉強会や地域別多職種交流会等の機会を利用し、介護施設等への参加呼びかけを進めます。
戦略6	フェニックスネットの登録者数	4,705人	8,004人	10,000人	登録者数は順調に増加しており、市政だよりやPR動画の放映による事業周知に加え、電子による登録受付の周知に力を入れたことも増加の要因と考えます。引き続き市民への周知が必要と考えます。	引き続き、市政だよりやPR動画の放映による事業周知やイベント等での出張受付などに取り組むことにより、全市民を対象に登録拡大を図ります。

## 地方創生推進交付金①

### 「NaDeC構想（4大学1高専連携プラットフォーム）による産業創出と人材育成」

#### ※地方創生推進交付金

「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づき認定される地域再生計画に記載される地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを国が支援するもの。

# NaDeC構想（4大学1高専連携プラットフォーム）による産業創出と人材育成

## 事業の概要【事業期間：令和元年度～令和5年度】

4大学1高専と商工会議所、市が連携し、大学や高専が持つ知見と市内企業が持つ技術を融合させ、新製品・新産業の創出やベンチャー企業の育成を進める「長岡版イノベーション」の実現を目指す「NaDeC構想」に基づく産業振興・人材育成事業を行う。（具体内容は次頁以降）

単位：円	R1	R2	R3	R4	R5	計
総事業費	125,386,350	104,066,832	<b>94,027,654</b>			323,480,836
交付金額	62,693,175	52,033,416	<b>47,013,827</b>			161,740,418

## 重要業績評価指標（KPI）

指標	事業開始前	R1増加分	R2増加分	R3増加分	R4増加分	R5増加分	
支援事業を通じた起業者数	目標		37人	38人	<b>39人</b>	40人	41人
	実績	0人	33人	40人	<b>39人</b>	—	—
4大学1高専卒業生の地元就職率	目標		1.31%	1.31%	<b>1.31%</b>	1.31%	1.31%
	実績	8.40%	0.41%	△0.51%	△ <b>1.26%</b>	—	—
支援事業（イノベーション・ハブ、産学金連携補助金、3大学1高専ワンポイント補助金等）により産学連携に取り組む企業数	目標		10社	10社	<b>10社</b>	10社	10社
	実績	0社	10社	18社	<b>14社</b>	—	—
産学連携活動（イノベーションハブ・課題解決型インターンシップ等）により解決策を提示できた課題数	目標		5件	10件	<b>10件</b>	10件	10件
	実績	0件	9件	17件	<b>17件</b>	—	—

# 産業イノベーション推進事業

## 事業の概要

変化の大きい時代に柔軟に対応するため、地域を担う産業、人材づくりを地域全体で行う。

### ①イノベーションプロジェクトの実施

・「介護」「AI」「水」「発酵」の4分野で産学官のネットワークであるイノベーション・ハブを作り、課題を抽出・共有し、解決に向けた試作品の開発・実装を行う。

・バイオエコミー社会を実現・推進し、長岡バイオコミュニティの定着と、バイオ産業と既存のものづくり産業の融合による新産業の創出と地域資源循環の促進・高度化を通じた循環社会の実現を目指す。

## 事業の成果等

### ①-1 イノベーション・ハブ

#### 【介護】

4つのワーキンググループを設置。改良したリフトの実証実験、議事録記録アプリの実証実験、持ち物確認システムの開発、災害対応支援ツールの検討

#### 【A I】

- ・セミナー「A I 活用のための入門講座」 9月24日、10月1日、10月8日開催 受講者各5名
- ・セミナー「業務の自動化・効率化に向けたデジタル技術活用セミナー」 1月31日開催 受講者38名

#### 【水】

地域の課題解決に向けた実証実験として、水処理技術「DHSリアクター（濾過材）」を活用した錦鯉の品質向上に向けた取り組みを実施。導入した養鯉場では、飼育水の着色度低下と鯉の餌の食いつき量の増加効果を確認した。

#### 【発酵】

多角的視点で発酵文化を楽しむイベント「HAKKO trip（令和3年10月30日開催）」において、産学官で連携して取り組んだ「未利用魚プロジェクト」や「越後ど発酵プロジェクト」について紹介（HAKKO trip来場者数 5,000人）

### ①-2 バイオエコミーコンソーシアム

バイオと持続可能な地域社会の形成をキーワードに、参加者同士のコミュニケーションを深め、新たな関係構築につなげることを目的として長岡バイオエコミーシンポジウム2022を開催（参加者 現地100人、オンライン363アカウント）



▲介護イノベーション・ハブ  
成果品体験会の様子

# 起業・創業支援事業

## 事業の概要

長岡市における起業・創業を支援し、魅力ある企業の創出を通して地域経済の活性化を図る。

- ①学生起業家育成事業：CLIP長岡（起業支援センター）、長岡商工会議所、市内金融機関、市で組織する創業応援ネットワークによる学生起業家育成補助金の交付や起業機運醸成の講演会等の実施。
- ②リーンローンチパッドプログラム：シリコンバレー発祥の実践的起業講座。
- ③起業・創業無料相談等：CLIP長岡による相談受付、起業関係講演会・セミナー、メンタリング等の実施。
- ④NaDeC課題解決型プログラム（再掲）：長岡高専の授業「JSCOOP」（ジェイスクープ）に市内大学の学生や社会人が参加し、地域企業の技術的課題や社会課題の解決策を提案し、アントレプレナーシップを養う。市は事業費を補助。

## 事業の成果等

- ①学生起業家育成補助金（補助率10/10、上限50万円）：3件  
スタートアップ創出補助金（補助率2/3、上限50万円）：1件
- ②期間：5月22日（土）～8月7日（土）  
参加者：19人、6チーム（学生11人、社会人8人）
- ③CLIP長岡 R3年度起業相談件数：285件 起業実現数：27件  
起業塾：3回開催、41人参加  
講演会：3回開催、141人参加
- ④基礎編：11月11日（木）～12月16日（木）  
応用編：12月16日（木）～2月10日（木）  
※この期間、開発システムは現場で実装し、週1回程度指導員と相談。  
受講者：18人（高専生11人、技大生2人、社会人5人）



▲リーンローンチパッドプログラム  
DEMODAYの様子

# NaDeC構想先行実施関連事業

## 事業の概要

産学官の共同体と活動の場を創設・運営し、産学官が連携した活動を推進する。

### ①NaDeC BASE施設運営

オープンコラボスペース、コワーキングスペース、ものづくり工房を運営。工房機器の利用者講習会も開催。

### ②NaDeC構想推進コンソーシアムの活動

市内4大学1高専、長岡商工会議所と長岡市でコンソーシアムを形成。産学官連携で次代を担う人材・起業家の育成、新しい価値を創造する協働・交流、産業創出に資する各種プログラムを実施。

## 事業の成果等

### ①年間利用者

人数 4,999名

件数 879件

R3年度ものづくり工房機器安全利用講習会

レーザーカッター講習 10回、3Dプリンター講習 10回開催 計52名参加

### ②NaDeCイヤーズブックの制作（冊子版、概要版 各5,000部発行）

ワーキンググループ（産学協創、起業支援、就職・インターンシップ、授業連携）の事業

・起業支援プログラム「リーンローンチパッド」の実施 5月22日～8月7日（先掲）

・産学連携アンケートを基に企業向けデザイン思考入門セミナーの実施

・市内大学・高専生向け市内企業PR動画を作成し、Youtubeに投稿

・長岡造形大と長岡技大が合同で「長岡を知る」をテーマに市内大学・高専生が聴講できる

「長岡学」を開講



▲造形大・高専合同授業の様子

# インターンシップ推進事業

## 事業の概要

県内外の学生が長岡でインターンシップに参加できるよう、受入企業の拡大と積極的な情報発信を図る。  
また、学生のニーズに合わせた多様なインターンシッププログラム作成支援を行う。

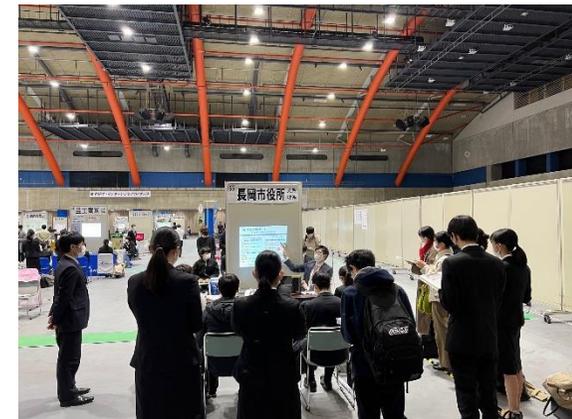
### 【インターンシップガイダンスの開催】

インターンシップの受入れを行う企業が、学生に企業概要やインターンシップの内容を説明する。

## 事業の成果等

### 業界研究・インターンシップガイダンス

対面式	
実施日	R3.12.16
実施場所	ハイベ長岡
参加者数	企業55社、学生210人



▲ガイダンスの様子

新型コロナウイルス感染症対策として、完全予約制とするなど万全な対策を行ったうえで対面式イベントを開催し、コロナ禍であっても企業と学生の接点づくりができた。

# 地元就職・U・Iターン支援事業

## 事業の概要

学生や大学と企業との接点を増やすとともに、市内外へ向けて長岡の企業や就職情報を発信し、UIターン就職の促進を図る。

- ① 地元就職・U・Iターン支援事業  
主に大学生や高専生、専門学校生を中心とした、就活支援事業。首都圏在名の社会人向けの相談会も実施。
- ② U・Iターンポータルサイト運営事業  
UIターンに特化したポータルサイトを活用し、社会人や学生に向けた情報発信を実施。
- ③ 地元定着支援事業  
主に高校生を対象とした地元企業との接点づくりを実施。

## 事業の成果等

	就職ガイダンス（大学専門学校等）		高校生企業フェス
	対面形式	オンライン形式	オンデマンド形式
実施日	R4.3.11	R4.3.16、3.17	R4.2.16～配信開始
実施場所等	アオーレ長岡	ZOOM開催	YouTube配信
参加者数	企業111社 学生258人	企業75社 学生延べ252人	企業47社 視聴回数5,015回



▲ 就職ガイダンスの様子

コロナ禍での貴重な対面イベントとなり、学生・企業の双方から好評をいただいた。  
高校生企業フェスについては、新型コロナウイルスの影響により急遽オンデマンド配信形式に変更して対応し、学生への情報提供の機会を創出できた。

# 地域技術高度化促進事業

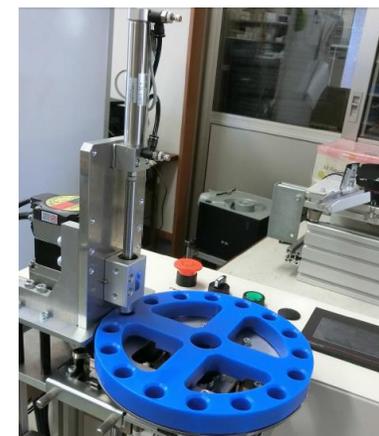
## 事業の概要

地域産業の活性化を図るため、新技術や新製品の研究開発等に対する補助金を設け、地域産業の技術の高度化と製品の高付加価値化を図る。

- ①ものづくり未来支援補助金：製品の技術高度化や高付加価値化に向けた開発支援  
オープンイノベーション枠：補助率1/2、上限額300万円 一般枠：補助率1/2（ベンチャー企業等2/3）、上限額100万円
- ②IT・IoT・AI設備導入支援補助金：生産性向上を目的としたIT・IoT・AI等の活用を支援  
補助率:2/3、上限額:100万円
- ③4大学1高専ワンポイント活用事業補助金：産学連携による中小企業等の課題解決の促進  
補助率2/3、上限額100万円

## 事業の成果等

- ①ものづくり未来支援補助金  
技術・製品の高付加価値化に関する取組みとして、6件11,950,000円の支援を行った。  
有限会社アイスマック、株式会社ロレムイプサム、株式会社鱗 ほか
- ②IT・IoT・AI設備導入支援補助金  
生産性向上に向けたシステム等の導入、開発を行う事業に対して、10件8,570,000円の支援を行った。  
株式会社大菱計器製作所、越銘醸株式会社、株式会社小林 ほか
- ③4大学1高専ワンポイント活用事業補助金  
課題解決のため学術機関と連携して取り組む事業に対して、2件2,000,000円の支援を行った。  
拾壹・ビッグストーン株式会社、長岡砂利採取販売協同組合



▲ものづくり未来支援補助金  
画像処理技術による  
ピスタチオ全自動殻割り装置の開発

# 産業活性化推進事業

## 事業の概要

生産性の向上や産学・企業連携の推進により、地域の優れたものづくりの技術力をさらに強化するとともに、地域ブランドの発信により、販路や受注の拡大を図る。

- ①ものづくり現場力向上支援事業：生産性向上に向けた人材育成及び改善活動の促進
- ②NAZEものづくり産業改革支援事業補助金：地域企業の連携組織・長岡産業活性化協会NAZEの支援
- ③受注促進事業補助金：販路開拓や受注拡大の促進
- ④IT関連企業など先端分野の産業立地に向けた誘致活動

## 事業の成果等

- ①ものづくり現場力向上支援事業  
先進デジタル技術を活用した現場改善リーダーの育成を目指す「NAZE学園」の創設準備とカリキュラムの開発を行った。
- ②NAZEものづくり産業改革支援事業補助金  
会員96社の技術高度化、人材育成、情報発信の取組みを支援した。
- ③受注促進事業補助金  
販路開拓及び新規顧客獲得のため、2つの大型展示会への出展を支援し、のべ11社が参加した。
- ④産業立地に向けた誘致活動  
進出に向けた企業立地意向調査のほか、新幹線車内誌やインターネットで広報活動を行った。



▲チャレンジ事業オープンファクトリー

# ものづくり未来人材育成支援事業

## 事業の概要

地場産業の魅力を次世代に伝えるとともに、地域に先端産業が根付き、イノベーションに発展する契機とするため、ものづくりの先端技術のPRを図る。

- ①ものづくり紹介冊子製作  
ものづくり企業の魅力を伝えるPR冊子の作製
- ②ロボットイノベーション事業  
地域を挙げたロボットの研究開発・産業化の推進

## 事業の成果等

- ①ものづくり紹介冊子製作  
造形大学と共同で冊子を制作し、市内中学2年生全員をはじめ小中学校、図書館等に4,000部を配布した。
- ②ロボットイノベーション事業  
地域におけるロボット導入を促進する取組みとして、6社に対して伴走型の導入支援を行った。また、ロボット人材育成のため、工業高等専門学校、高等学校、企業向けの実習、講習会を開催し、120人が参加した。



▲長岡高専ロボット実習

# IoT導入支援事業

## 事業の概要

市内企業におけるIoT導入やIoTに精通した人材の育成を支援し、企業の抱える課題を解決するとともに、「長岡版イノベーション」モデルの創出を図る。

- ①長岡市IoT推進ラボ（市内の4大学1高専や製造業の業界団体がIoT導入促進に向け活動する団体）  
IoT導入にかかる普及啓発や人材育成、生産現場における課題解決の支援
- ②企業連携コーディネーター  
IoT導入に向けた個別相談の対応

## 事業の成果等

- ①長岡市IoT推進ラボ  
企業のIoT導入に向け、19件の個別相談を受けた。  
また、生産現場の課題解決に向けた3件のシステム等の開発を支援した。
- ②企業連携コーディネーター  
企業のIoT導入に向け、上記①の相談員として19件の相談に対応した。



▲個別相談の様子

## 地方創生推進交付金②

### 「高度外国人材を活かした未来産業創出システムの構築」

#### ※地方創生推進交付金

「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づき認定される地域再生計画に記載される地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを国が支援するもの。

# 高度外国人材を活かした未来産業創出システムの構築

## 事業の概要 【事業期間：令和2年度～令和6年度】

高度な技術を学ぶ留学生の市内企業への就職を促進するとともに、海外大学で学ぶ留学生のインターンシップの受入や高度な技術を持つ外国人材が活躍できる環境の整備を行い、地域中核企業の創出と多様な人材が活躍するダイバーシティを目指す。また、外国人材活用支援アドバイザーを雇用し、外国人材の受け入れ課題を洗い出し、課題を解決する支援策を検討する。（具体内容は次頁以降）

単位：円	R2	R3	R4	R5	R6	計
総事業費	9,116,819	<b>9,567,013</b>				18,683,832
交付金額	4,558,409	<b>4,783,506</b>				9,341,915

## 重要業績評価指標（KPI）

指標	事業開始前	R2増加分	R3増加分	R4増加分	R5増加分	R6増加分
外国人材の市内の雇用者数	目標		100人	<b>100人</b>	100人	100人
	実績	1,554人	401人	<b>-78人</b>	-	-
市内企業の留学生インターンシップ受入人数	目標		10人	<b>10人</b>	10人	10人
	実績	0人	4人	<b>0人</b>	-	-
地域経済牽引事業計画認定企業数	目標		4社	<b>4社</b>	5社	5社
	実績	17社	3社	<b>4社</b>	-	-
日本語講座受講者数	目標		30人	<b>30人</b>	30人	30人
	実績	1,100人	56人	<b>36人</b>	-	-

# 外国人材受入環境整備事業

## 事業の概要

外国人材の活躍による市内企業のグローバル化を支援するため、専門技能・技術を持つ外国人材を受け入れる環境の整備や、受入企業の社内体制の整備などを支援する。

- ①外国人材活用支援アドバイザーによる企業ヒアリングの実施
- ②留学生の市内企業見学ツアー&交流会の開催、合同企業説明会を開催
- ③国際行政書士による在留資格手続きのサポート

## 事業の成果等

- ・令和2年度より外国人材活用推進アドバイザーを任用し、アドバイザーによる企業と留学生によるインターンシップマッチングに取組み、市内企業2社で計4名の外国人材のインターンシップ受入につなげることができた。インターンシップ受入承諾企業は13社となった。
- ・留学生の市内企業見学ツアー&交流会の開催を開催し、企業計13社、留学生計27名が参加し、交流を深める機会を提供することができた。
- また合同企業説明会には、企業7社、留学生12名が参加した。県内の市町村単独での説明会は初。
- ・企業が外国人材受入の際に課題に感ずる「在留資格」手続きについて、国際行政書士による相談や申請書類作成のサポートを昨年度に引き続き実施。企業の外国人材受入に寄与することができた。



▲留学生の市内企業インターンシップ

# 国際経済・技術交流促進事業

## 事業の概要

長岡国際ビジネス研究会が実施する、海外取引に関するセミナーや海外販路開拓支援等の各種事業を支援することで、市内企業の海外展開マインドの醸成と海外ビジネスに必要な情報提供を行い、海外ビジネスのきっかけ作りに寄与する。

## 事業の成果等

市内企業の海外展開の取組みを促進する事業を実施した。

- ・ 会員企業 2 社に対し 専門家による個別支援を行った。
- ・ 海外ビジネス関連セミナーの受講補助を全 5 回を行った。
- ・ 留学生向け就職相談会「国際人材フェア・にいがた」への参加支援を行った。

# 国際交流センター運営事業

## 事業の概要

外国人が不慣れな地で暮らす生活環境を整え、支援情報を理解できる言語を提供することにより、孤立化を防ぎ、地域や企業への定着を図る。

- ①国際交流センター運営職員（多文化共生推進担当）  
生活相談のほか、情報誌やFM等での多言語による情報発信、交流会の企画などの顔の見える関係づくりを行う。
- ②多言語対応情報発信  
日本語情報誌を10言語に翻訳可能な多言語情報配信ツールの導入
- ③やさしい日本語講座  
日本語に不慣れな外国人にもわかるような日本語の使い方を学ぶ講座の開催
- ④留学生地域理解プログラム  
長岡に愛着を持ち、就職等による定着促進を図るための市内ツアーの開催

## 事業の成果等

生活相談では、日本語学習に関する相談を中心に314件の相談があり、生活環境を整えるサポートや不安感の解消につながった。

また、多言語情報配信ツールにより、広報誌等をデジタル配信した。市政だよりは延べ1,456件の閲覧があり、情報の入手手段の一つとして活用した。

やさしい日本語講座では32名の参加があり、外国人とのコミュニケーション方法の周知を行うことができた。

地域理解プログラムとして開催した「長岡魅力発見講座」では、留学生と高校生とが、市内で活躍する方の話を聞き・体験し、長岡の魅力や特色を一緒に学ぶことで、長岡に愛着を持ってもらうような事業となったほか、高校生との交流のなかで顔の見える関係づくりを行うことができた。



▲陶芸を体験する高校生と留学生

## 事業の概要

市民が外国人に対する理解を深めることにより多文化共生社会を構築し、ひいては、多くの外国人および日本人に選ばれる地域となるような、グローバルで魅力ある長岡市への推進を図る。

- 世界が先生-国際人育成事業-  
小中学校が行う課外授業やコミュニティセンターに留学生や外国人市民を派遣し、母国などの文化紹介を行う。

## 事業の成果等

世界が先生を12回実施し、延べ12名の留学生講師の派遣を行った。  
参加した児童生徒・地域住民は359人で、子どもを中心に参加があり、「留学生の出身国について知ることができてよかった。行ってみたいと感じた。」「日本と同じような部分もあり、身近に感じることができた」等、異文化理解を推進することができた。  
留学生にとっても、長岡の文化を学ぶ等、多文化共生の推進につなげることができた。



▲自国について紹介をする留学生

## 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

### ※地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除するもの。令和2年度から制度が大幅に見直しされ、寄附を行った場合、最大で寄附額の9割が軽減される。

# 寄附対象：長岡市まち・ひと・しごと創生事業

## 事業の概要

長岡市の将来を実際に担っていく「若者」を地方創生の主役に据え、長岡に住み続ける「若者」、戻ってくる「若者」、新たに移住してくる「若者」をしっかりと確保し、愛着と誇りの持てる「ふるさと長岡」をつくる取り組みを行う。併せて、高齢者が元気に暮らしていけるための取組を継続して行う。（第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業が寄附の対象）

## 令和3年度寄附実績

寄附を受けた事業	寄附を活用した事業の内容	事業費	寄附額
NaDeC構想（4大学1高専連携プラットフォーム）による産業創出と人材育成	4大学1高専と商工会議所、市が連携し、大学や高専が持つ知見と市内企業が持つ技術を融合させ、新製品・新産業の創出やベンチャー企業の育成を進める「長岡版イノベーション」の実現を目指す「NaDeC構想」に基づく産業振興・人材育成事業を行う。	94,028千円	2,300千円
米百俵プレイス（仮）整備事業	大手通坂之上町地区の市街地再開発事業で整備中の「米百俵プレイス ミライエ長岡」において、この複合施設を中心に「まちなか図書館」を整備している。単に既存の互尊文庫の現状機能を移転するのではなく、新たな施設全体で野本互尊翁が唱えた互尊文庫の精神性や「修養の場」としての役割を引き継ぐことはもちろん、まちなかの特性にあった新しい機能を充実させた魅力ある図書館を目指しており、この図書館に所蔵する図書を購入する。	13,920千円	1,100千円
介護人材確保支援事業	法人で勤務する介護福祉士資格未取得の介護職員に対して「介護福祉士実務者研修」の受講費用の一部を補助することで、未経験者の介護就労を促進し、介護人材の確保を支援する。 市内法人及び専門学校が設立した介護職のイメージアップ事業を検討・実施する団体に対して補助金を交付する。	3,453千円	500千円